

S-TEAM 教育推進事業 「STEAM」 推進プロジェクト
外部連携支援事業（学校活用型）実施報告書

学校名	北海道斜里高等学校
実施日時	令和4年8月23日（火） 9:30～11:30
講師	（所属）北こぶしリゾート （職・氏名）経営戦略室（広報担当）チーフ・村上 晴花 様 （所属）LANTOK （職・氏名）代表・藍 屏芳 様
実施概要	<p>1 ねらい</p> <p>2年次課題研究「知床学」として、世界自然遺産「知床」をフィールドに、自らの体験を通してその貴重さと脆弱さを認識するとともに、知床周辺の自然環境についての学習を通して更に理解を深め、自然科学的な興味の高揚を図る。また、知床の抱える問題の発見や、知床の歴史を振り返ることで、そこに生きてきた人々、現在知床が置かれている社会的状況を理解した上で、産業や観光、自然保護の啓発活動の方法を考える。</p> <p>2 日程</p> <p>8:40～ 振興バスを利用し、斜里町ウトロへ移動 9:30～ ・知床ゴミ拾いプロジェクトについて（講話） ・クマ活について（講話） 10:30～ 斜里町ウトロにてゴミ拾いプロジェクトに参加 11:30～ 振興バスで、学校へ移動 12:20 帰校</p> <p>3 講義、実習等の概要</p> <p>知床ゴミ拾いプロジェクトの活動について講義をいただき、知床における路上や海岸に捨てられたゴミ問題から、知床が抱える問題を考察し、マイクロプラスチックなどの自然環境や生態系への影響について理解を深めた。また、知床のクマを守る活動「クマ活」について、なぜ活動が必要なのかフィールドワークも含めた講義をいただいた。講義後、ウトロ市街で地域のボランティアの皆さんとともにゴミ拾いプロジェクトに参加し、環境美化活動について各講師から学びながら実習を行った。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div> <p>4 成果（生徒・教員の変容及びねらいの達成状況等）</p> <p>今回から知床で問題視されている「ゴミ」を通して、生態系に及ぼす影響を講義と体験から深く学ぶことができた。また、地域のボランティアが知床の環境保全にいかに関与しているかをよく理解することができ、自らも自然環境保全を意識した行動をとるようになった。課題研究の対象として検討する生徒も見られた。</p> <p>活動詳細は、知床ゴミ拾いプロジェクトサイトに掲載された。 https://www.facebook.com/groups/cleanshiretoko/</p>